

2024年度第2回学校評価委員会（将来構想委員会）報告書

日 時：2024年11月29日（金）18：30～19：45

場 所：会議室

出席者：医師会…会長・副会長・事務長

学校……副学校長・両科教務主任・事務次長（進行）

外部……公立八女総合病院看護部長・姫野病院看護部長

福島高等学校長・八女学院中学・高等学校進路指導部長

※欠席：筑後市立病院院長

1.開会（18：30）

2.委員長挨拶（医師会長）

3.委員紹介（自己紹介）

4.議題

1) 看護基礎教育の現状と本校の課題・本校各科の学生状況について

- ・委員会設置趣旨・我が国の看護教育の動向について（副学校長）
- ・本校の学生動向について（両科教務主任）
- ・学生確保に向けた対策について（副学校長）

2) 意見交換 ※敬称略

（進行） 資料に沿って説明が終了。この地域での看護職養成施設として改善点など参考にさせて頂きたいので、先生方から忌憚のない意見を頂きたい。今後の学生の動向などについてお話をお聞かせいただきたい。

（委員） 看護学部へのエントリーは21名、内大学進学19名、専門学校進学2名（2名とも福岡市）。

また、スポーツ特待の学生が多く、理学療法士を目指す学生が6名、内大学5名、専門学校1名。大学が増え入りやすくなっている。

（委員） 看護学部への進学希望者は9名、内大学3名、専門学校6名。

高校の定員が減少しており、定員割れをしている科もある。

人間関係に悩む学生も多く、1年生の初めは縦の繋がりを意識して一緒にゲームなどを行い、上級生の成長の過程を見せるようにしている。特に1年生は行事を多く取り入れ、人間関係作りに力を入れている。

(委員) 今の子どもたちは「早く大学を決めたい」「早く高校を決めたい」
特色化選抜(AO)を受験する生徒が多く、3月の一般入学試験を受験する
生徒は少なくなっている。
早く進路が決まった生徒に対して指導が必要だと感じる。
高校から中学校に出向き、入学前学習課題での指導を行っている。

(学校) 高校も定員が減少している中で、看護師を目指す生徒が減っている。

(委員) そうではないと考える。医療関係(看護職)の志望者数に変化はない。

(学校) 大学卒業の看護師と専門学校卒業の看護師の違いはあるのか。

(委員) 専門学校の卒業生の方が急性期などでも柔軟に対応できる。

(委員) 差は感じない。専門学校間の差を感じる。八女卒は成長過程が早いように
感じる。中にはゆっくりの学校もある。

(委員) 実習になると体調不良になる学生がいるようだが、何が原因なのか教えて
ほしい。

(学校) 看護科は看護過程の展開力が求められるため、初期計画発表前になると体
調不良で欠席の連絡が入ることが多い。
学内の学習力が身につけている学生であっても思うように書けず、記録面
での躓きが影響していると思われる。

(学校) 自分に対し出来る感が高く、実際実習に行ったらできないギャップに悩み、
指導を受け入れられずに行けなくなる。

(委員) 縦の繋がりががあると先輩から助言を受けられるのでは？

(学校) 問題解決に繋がる為の情報ではなく、指導者や教員の指導方法等を先輩が
伝達しているのか？ 本来なら事前学習やどうしたら上手く実習で学べる
のかという伝達をしてほしいと思う。

- (学校) 自分の出来ていないところを指導されるので、指導されると自分を全否定されたようにとらえる。
助言したことを否定された、怒られたと捉える学生がいる。
実際患者を目の前にすると臨床現場の厳しさを目の当たりにする。
看護者になる覚悟が不十分のまま目指してきている。指導をしていると本当はなりたくなかったということがある。
- (委員) 実習受け入れ先で記録の指導等もできればと思う。情報共有をしていきたい。1年目はとくにしっかり関わっていけると2年目に繋がるので、サポートしていきたい。
- (学校) どうしても2年生は実習や国試対策などで教員の関わる時間が多くなり、1年生への対応が少なくなっている。もっと1年生への関わりを増やしていくことを意識していく必要がある。
- (委員) 実習を受け入れる側にもできることを教えて頂けたらと思う。
学校から臨床へと繋いでもらったらいいと思う。
- (学校) 今のご意見非常にありがたい。1年生への手厚いケアが大事。
夏休みがターニングポイントになっていく。意欲を持たせタイミングが遅れないようにしていきたい。
- (委員) 部活に所属している生徒は団結力を学ぶので、辞めることがない。ゴールデンウイークなどに勉強合宿を行っているのも一つの対策である。
- (委員) 声掛けにはものすごく気を使っている。「叱咤激励」は通用しない。
ダメなことはダメというが、ほめて伸ばす関わりを意識して実行中。
カウンセリングはどのように行われているか？
- (学校) カウンセリングを1名(委託)ホームページから個人で申し込みが出来るシステムを作っているが利用には繋がっていない。
- (委員) 本校は保護者や職員が課題のある学生への対応について、カウンセリングを受けている。

(委員) カウンセラーは引っ張りだこ。生徒たちをカウンセリングに保健室の先生が繋いでいる状況にある。

(委員) 窓口は広いが、壁がある。「叱咤激励」は難しい。

(委員) 高校でも、保護者や生徒が直接「県の関係機関」に電話をかける。

(学校) 自分の存在感を示し、それを受け入れられたことで満足する。そのために直接県に電話をかける。保護者を呼び出し話を聞くことをする。

(委員) 高校での経験が乏しいことで、学生がその先に迷惑をかけることになる。もっと指導していきたい。

夜間定時制の生徒が年々増加している。

学費の面で悩んでいる。奨学金を受けても先が見えず足踏みしている。

(学校) 地元での医療職が少ない。定員は 40 名だが、既に定員割れが続いており、1 桁になったら非常に厳しい。

継続していくには入学してくる学生が必要。今は暫く頑張っていきたい。

・今後に向けて

(学校) 学校経営が厳しくなる一方だが、学生のモチベーションを上げ、厳しい状況でも入学の間口を広げて、しっかりと教育し、時には時間をかけてでも質の高い看護師を輩出する必要がある。

(進行) 本日は貴重なご意見をありがとうございました。

本日のご意見を参考に今後の状況をみながら学生募集、運営、学生指導に繋げていきたいと思う。今後ともご指導ご協力をお願い致します。

5. 閉会の挨拶

(学校) これからの状況を見ながら、本校の在り方を見直し、オープンキャンパス、学生募集に力を注いでいきたい。

教職員も頑張っている。先生方のお力添えを宜しくお願いしたい。

2024 年度学校関係者評価委員会報告書

学校評価委員会（自己点検・自己評価）の第一回学校関係者評価を行いました。
その結果を下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会

- ・評価委員……九州大谷短期大学 教授（学識経験者）
筑後市立病院 看護部長（企業等委員：専門分野関係者）
学生保護者（PTA：看護科学生保護者）
※欠席……久留米工業大学 教授（学識経験者）
姫野病院 看護師（卒業生：同窓会役員）
- ・学校……… 医師会長・学校長
医師会副会長・学校担当理事
副学校長
准看護科 教務主任
看護科 教務主任
事務長
事務次長（進行）

2. 日時：2024年7月26日（金）19：05～20：15

場所：会議室

3. 議題

- 1) 八女筑後看護専門学校 自己点検・自己評価について（副学校長）
これまでの取り組みの経緯について
・准看護科、看護科の自己点検自己評価結果は、ホームページにて公表
- 2) 2023年度学生状況について（副学校長）
- 3) 2023年度准看護科評価結果について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 4) 2024年度准看護科重点課題について（准看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 5) 2023年度看護科評価結果について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表
- 6) 2024年度看護科重点課題について（看護科 教務主任）
・ホームページにて公表

7) 意見・質疑応答

質問・意見（評価委員）	回答・意見（学校側）
<p>1) 短期大学も入学者が減っており、選抜が出来ない。モチベーションの低い学生に対して一生懸命関わられていることに頭が下がります。</p> <p>オープンキャンパスの参加者を集める方法をお聞きしたい。</p>	<p>高校に関しては6月末に筑後地区の高校を訪問し、入試やオープンキャンパスについてご案内をしている。また高校進路ガイダンスなどに参加させていただいている。准看護科学校は柳川・鳥栖・筑紫・熊本方面へ訪問をして案内している。</p>
<p>2) 専任教員は何人ですか。</p>	<p>指定規則上、准看護科5人以上（当分の間3人以上）、看護科7人以上となっており、本校は准看護科4人、看護科7人の専任教員がいる。</p>
<p>3) 病院は看護師が不足している。国家試験の合格率が65%の原因は。</p>	<p>開校以来の今回の最低な結果について分析したところ、113回は全国平均としても昨年より3%低下したので、全体的に難易度が上がったと言える。</p> <p>今年の卒業生の状況は、准看護科時代から看護科1年次迄の3年間、新型コロナの影響を受けたことが大きな要因と考える。ほぼ学内実習であったことで、看護科の2年次の実習で単位をとれない学生が多く出た。この為、旧カリキュラムの追・再実習の時期が1月であり、国家試験の最後の追い込みが出来なかった。しかし、これまで追・再実習を同時期に実施しても国家試験で不合格にはならなかった。</p> <p>また教員においてもカリキュラム改正により、細かい打ち合わせが必要となり会議に時間を要し多くの時間を必要とした。教育する側にも要因があったと思っている。</p> <p>本校のこれまでの国家試験合格率が高かったこともあり、学生・教職員共、危機意識が薄れていたと考える。</p>

<p>4) いつも先生方の取り組み姿勢は素晴らしいと感じている。来年は期待しています。</p>	<p>今の2年生は危機感を持ち頑張っている。教員も気を引き締めている。</p>
<p>5) 入学者も減少しており、退学者も増加しているとなると、退学者の増加を防ぐ対策として、メンタルケアなどに力を入れられると学生数が維持を出来るのではないか。 退学者を減らす努力が必要なのではないか。</p>	<p>同感である。しかし入学時のモチベーションも関係していると思うが、遅刻や欠席をすることで履修できず結果、休学や退学になっている。 学校に来ない、諦めが早いなど十分に関わること出来ない状況が多くなっている。</p>
<p>6) 3年の教育課程と比べて4年の准看護科・看護科の教育課程の内容の違いは。</p>	<p>准看護科 1,890 時間、看護科 68 単位以上で2課程の合計は約 4,000 時間、3年課程は 102 単位以上、約 3,000 時間以上となっている。時間数としてはより多く学んでいるが、准看護師を取得するための2年間であるので、それを土台にしっかり学べば2年課程の看護科で学びが十分深まる。</p>
<p>7) 社会の構造が変わってきており、家庭の中で職業の選択肢を話すときに、以前は先ずは准看護師、それから正看護師と言っていたが、今は学歴重視で経済的に余裕があれば大学に進学する。 社会人入学も、最近では企業側の雇用条件が良くなり雇用が増加していることで、PT・OTなど医療職の専門学校への入学者も減少している。 このようなことが日本全体の准看護課程への入学者の減に繋がっている。 看護科においては、准看護科の減が大きな影響となっている。</p>	
<p>8) 准看護師の資格を取って就職した人の追跡は出来ているのか</p>	<p>昨年はお母さん学生が多かったので、就いた学生が多かった。 数年後には看護科への進学を考えていると聞いている。</p>